

ブリッツェン 小野寺 県勢最高 3位

自転車

JPT第11戦

自転車ロードレースのJプロツアー（JPT）第11戦「西日本ロードクラシック広島大会」は30日、広島県の中央森林公園サイクリングコース（1周12・3キロ×9周＝110・7キロ）で行われ、宇都宮ブリッツェンの小野寺玲が3位となった。

雨の中で開催されたレースは最終周回、メイン集団がブリッツェンの雨沢毅明ら数人の先行集団を吸収。最後は6人のスプリント勝負となり、窪木一茂（プリチストン）が2時間46分39秒で優勝。小野寺はわずかに届かず、同タイムで3位だった。

次戦は1日、広島市西区商工センター内特設コース（1周1・7キロ×30周＝51キロ）で第1回広島クリテリウムを行う。

▽P1（110・7キロ）①窪木一茂（プリチストン）②横山航太（シマノ）③小野寺玲（宇都宮ブリッツェン）以上2時間46分39秒④鈴木謙（同）2時間46分48秒⑤鈴木龍（同）2時間46分49秒⑥雨沢毅明（同）2時間47分36秒⑦岡篤志（同）2時間47分36秒⑧岸崇仁（那須フライゼン）2時間52分0秒⑨西尾勇人（同）2時間52分2秒⑩柴田雅之（同）2時間57分1秒⑪阿部高之（宇都宮ブリッツェン）2時間57分40秒⑫阿部航大



ゴールスプリントの末、3位でフィニッシュする宇都宮ブリッツェンの小野寺（中央）＝広島県内、小森信道さん撮影

ホシノカキ木2時間58分51秒⑬下分11秒⑭野宮 朗ホシノカキ木3時間0分6秒⑮佐川祐太同3時

間0分6秒⑯永吉篤弥（那須フライゼン）3時間1分52秒⑰吉田悠人（樋口峻明、椎貞竜哉（那須フライゼン）小泉亮一（小林宏志（ホシノカキ木）飯野智行（宇都宮ブリッツェン）以上途中棄権

▽F（36・9キロ）①唐見美世子（弱虫ペダル）1時間2分53秒②合田祐美子（CORRIDORE BIORACE）1時間4分53秒③山美寿々々（同）1時間5分52秒④伊藤菜々（イブガーテン）ヒチステン）1時間8分2秒

苦手コースを克服

○…宇都宮ブリッツェン

小野寺玲が残り150キロからのゴールスプリントに挑んで3位入賞。「厳しいコースで表彰台に上がった。新しい可能性が見えてきた」と明るかった。

前週の全日本選手権で惨敗したチームは立て直しの意味を込め、各自フリーで走りながら勝ちを狙うプランを選択。起伏が激しいコースに「過去、勝負に絡めたことがない」と苦手意識があった小野寺だが、雨沢毅明が逃げに乗ったことでメイン集団内でスプリントに備え、最終盤の勝負につなげた。

1日は初開催の広島クリテリウム。チームはしばらく勝ちから遠ざかっているだけに「そろそろまた一つ勝ちが欲しい」と気持ちを引き締めた。